

日付:2003年8月7日

提出元:NTT 東日本 林 明、仲山 洋

題名:ADSL (CAP) (仮称) 及び SDSL (CAP) (仮称) のスペクトル 適合性検討について

1. はじめに

本寄書では、現在未確認方式としてサービス提供されている、ADSL (CAP) (仮称) 及び SDSL (CAP) (仮称) のスペクトル適合性を確認する事について提案する。

尚、本寄書は、上記 2 方式を提供している(有)銀座堂殿の依頼により、NTT 東日本から寄書提出するものである。

2. ADSL (CAP) (仮称) について

本方式は銀座堂殿が NTT メタリックケーブルへ接続してサービス提供している CAP 方式の ADSL サービスであり、現在はスペクトル適合性については未確認となっている。

本方式の回線数は現在 2 回線であり、今後増設はしない。

技術仕様については別途提示する。

3. SDSL (CAP) (仮称) について

本方式についても同様に銀座堂殿ご提供の CAP 方式の SDSL サービスであり、現在スペクトル適合性は未確認である。

本方式の回線数は現在 6 回線であり、今後の増設はしない。

技術仕様については別途提示する。

4. 提案

本日合意が得られれば、今後スペクトル管理 SWG メーリングリストを活用して別途示す技術仕様により、スペクトル適合性を計算し、クラス分けの検討を行い、適合性結果について「スペクトル適合性確認結果報告書」及び「スペクトル適合性確認の実施済みシステム一覧」に追加することを提案する。メール上でのクラス分け合意が困難な場合にはスペクトル管理 SWG を開催した上での検討を要望する。

以上